

## 神戸市東灘区～西宮市上中市

●歩行距離／12.4km ●標準歩行時間／3時間06分 ※1時間4kmで計算しています

神戸市から閑静な住宅街が続く芦屋市を通り、西宮市街地へ。西宮市中央にある商売繁盛の神を祀る十日戎で有名な西宮神社に参拝。西宮神社をあとにしばらく国道43号線と並行に歩いたのち北へ。阪急門戸厄神駅を越えて北東方向へ歩を進めます。曲がるポイントをマップでよく確かめながら歩いてください。



## 打出天神社



祭神は菅原道真。創建や由来は明らかではありませんが、天暦元年(947)北野天満宮に道真が祀られてからそれほど遠くない時期には、この地に祀られていたという説もあります。古くから交通の要衝として栄えた打出の地には、天神信仰が早くから伝わったと考えられます。

## 阿保親王塚 あほしのうづか



平城天皇の第一皇子・阿保親王が祀られているとされる塚。住宅地のなかにあり、周囲を石柵で囲まれています。直径約36m、高さ3mの古代の円墳で周濠が巡らされています。宮内庁で管理されているため公開はされていませんが、毎年12月には正辰祭が行われます。

## 西宮神社



全国のえびす神社の総本社。室町時代に活発になったえびす信仰の本拠地として、その神徳を広めていきました。その後、ますます社勢が増し、上方の経済発展に伴ってえびす様が商売繁盛の神として信仰されるようになりました。室町時代の大練塀と桃山建築の表大門は、重要文化財に指定されています。

## 門戸厄神 もんどやくじん



厄除開運の厄神明王が祀られている東光寺。嵯峨天皇が厄年の折り、夢のなかで愛染明王と不動明王が一体となって災厄を払い、魔を退治する力を感じました。それを基に弘法大師がつくった3体の明王像のうち、1体が東光寺に祀られている厄神明王であるとされています。